



北アフリカ地域ニュース

スーダン：胡錦濤中国国家主席の訪問 (2月4日付現地報道取り纏め)

2月2 - 4日、胡錦濤中国国家主席はスーダンを公式訪問し、両国間の友好協力関係強化についてバシール大統領以下のスーダン側要人と会談を行った。

1. 両国間の合意・調印事項

- (1) 対ダルフル人道支援に4,000万元(480百万ドル)供与
- (2) スーダン大統領宮殿新設計画に対する借款供与
- (3) スーダンの対中国4億7,000万元プラス1,900万ドル分の債務の免除
- (4) スーダン産品44品目の対中国輸出に際する関税免除
- (5) スーダン農村部での学校2校建設
- (6) 農業技術センター設立

2. ダルフル問題解決に向けた中国提案

中国側は、ダルフル問題解決に向けたスーダン政府、AU、アラブ連盟、国連及び関係諸国による取組みを評価すると述べ、同問題の可及的速やかな解決を希望するとして上で、全ての関係者が遵守すべき事項として4項目の原則を提示した。

- (1) スーダンの主権と領土保全の尊重。ダルフル問題解決は、スーダンの国民和解プロセス、国家統一及び域内の平和と安定にとって有用であるべき。
- (2) 平和的手段と対等な関係に基づく対話と協調を通じた解決。
- (3) AUと国連による平和維持活動の建設的役割。中国は政治的な問題解決を追求するプロセスを支援する。
- (4) ダルフルでの人道状況、生活状況の改善が不可欠。現在重要なことは、包括的停戦を達成し、政治交渉プロセスを加速し、DPA非署名派を政治プロセスに可及的速やかに参加せしめる一方で、現地の生活状況改善の為の人道援助の提供確保。

3. 閣議での評価

2月4日の定例閣議は、中国がスーダンの内政に介入することなくスーダンの重要な戦略的プロジェクトを実施してきた事に関する中国政府と国民の役割を高く評価した。又、閣議は、バシール大統領から二国間関係の一層の協力強化を目的とした胡錦濤国家主席の今回の訪問について説明を受け、両国国民の利益に資する両国間のパートナーシップのレベルを賞賛した。